

銚子七中
学校だより**坂東太郎**令和2年12月4日
第31号**校長閑話****COUNT DOWN 開校まであと 118日****これからのライフスタイル！**

閉校に伴い、生徒数の減少が昨年度と今年度は顕著です。その影響でこれまでの教育活動もあらゆる場面で制限を強いられることとなりました。その一つが清掃活動です。本校の校舎や敷地は他校と比べると決して大きくありませんが、廊下や特別教室、グラウンド、中庭の清掃ができなくなりました。そこで登場したのが、ロボット型自動清掃機です。毎朝玄関ホールや廊下等をくまなく清掃してくれています。AI (Artificial Intelligence 人工知能) を駆使し、人の数倍の仕事量をこなしていく姿や働きぶりは驚くほどです。これからは AI を搭載したロボットがあらゆる場面で人に変わる仕事をしてくれることになり、私たちの生活様式も大きく変化することになると言われています。しかしながら、人と AI の仕事区分は明確にしておかなければなりません。AI と人との関係性やバランスをしっかりと保つことが大切です。

11月を振り返って**2日(月) 弁当の日**

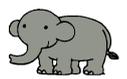
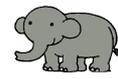
11月に入り朝晩は冷え込むことも多くなりましたが、日中は20度前後と過ごしやすいい日が続きました。2日は「弁当の日」で給食がないことから、校庭で全校アウトドアランチでした。外の空気をめいっぱい吸い込んで、食べる昼食はいつもの数倍美味しく感じるものです。これも七中での思い出作りです。幸いにも昼休みが終了すると同時に雨が降ってきました。

4日(水) 津波対応訓練

49. 2 m. これは本校の位置する標高です。4日は午後1時30分から全市挙げての津波対応訓練が行われました。銚子市は3方向が海に囲まれていることから災害訓練では津波対応の避難訓練が必要不可欠です。本校は、高台にあるため地震のみの訓練ですが、学区にある豊里小学校や市内にあるいくつかの小中学校は高台に避難する訓練を実施することになっています。生徒は訓練ではありましたが、緊張感を持って参加できました。小学生も無事本校グラウンドへ避難できました。

**11日(水) 和の音に魅せられて**

音楽室からは、優雅な琴の音が響き、まるで京都の街並みに身を置いたような気分でした。午後の音楽の授業では、1年生が近隣の和楽器の講師の先生をお招きし、琴の演奏体験を行いました。また、初めて聴く講師の先生の三味線演奏に生徒は皆、驚嘆していました。授業の最後には「さくら」を全員で合奏できるまでになり、和楽器の素晴らしさやその奥深さを学ぶことができたようです。

**インドはい〜んど!? ⑮**

インドの気候は暑いばかりではありません。12月、1月は気温も下がり昼間は23～25℃、朝や夜は10℃まで下がります。大変しのぎやすいこの時期は何をするのも最適な季節と言えます。したがってアウトドアスポーツも盛んになり、インドの国民的スポーツであるクリケットが子どもたちによって空き地の至るところで行われます。また、その国際試合となると隣国でありライバルであるパキスタンとの一戦が大いに盛り上がります。インドではクリケットの選手は子どもたちの憧れです。

さて12月のクリスマスの飾り付けは年末であることを一層実感させてくれます。当時居住していた家のリビングでも現地(インド)で購入したクリスマスツリーを設置しました。ヒンズー教徒が多い国でありながら、町の至る所でクリスマスに関わるグッズ(オーナメントやリース等)の購入は可能でした。それはきっとインドの子どもたちのもとにもサンタクロースがやってくるからだと思いました。



